

日本語初級学習者の利用に配慮したデータベース検索システム — 「日本語でケアナビ」を例にして—

田中哲哉 上田和子 角南北斗 前田純子 嶋本圭子 (国際交流基金関西国際センター)
国際交流基金関西国際センターでは 2007 年 7 月に、看護・介護場面で働く日本語学習を対象としたサイト「日本語でケアナビ」を公開した。「仕事で使える」「気持ちを伝える」「くらしに役立つ」をコンセプトにした、英和・和英辞書機能を中心とする日本語学習支援サイトである。

このサイトを開発するにあたり、日本語が初級レベルの人でもスムーズに利用できることを目標の一つとし、読みやすい表示方法や日・英のモード切換えなど、いろいろな工夫を試みた。その中で、入力検索に関しては、日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字)と英語(アルファベット)による入力を同じ一つの検索ボックスで行うことに加え、「表記ゆれ」について、以下のような点に留意し、対応できるようにした。

1. ローマ字表記のバリエーション

日本語初級学習者の場合、ひらがなやカタカナを使った正確な表記を習得するには一定の時間がかかるため、ローマ字でも利用できることが望まれる。日本語のローマ字表記に関しては、ヘボン式、訓令式などさまざまな方式が実際に利用されている。このため、入力検索では、いろいろな方式で入力されても、目指す語彙・表現が検索できるようにした。また、表示に関しては、さまざまな環境でのサイトの使用を考え、文字化けの可能性のある記号などは使用しないことにした。

2. 漢字かな表記のバリエーション

漢字の送り仮名は、「受け付け」「受付け」「受付」などのように、同じ語彙に対していろいろな表記が実際に使われていることも多い。そこで、複数の表記のどれを入力しても検索可能にした。

3. 表記の文字のバリエーション

日本語は、複数の種類の文字があるため、同じことばでも漢字が使われたり、ひらがなだったり、カタカナだったりすることも多い。例えば病気の「癌」の場合、「がん」や「ガン」という表記も一般的であり、「おむつ」と「オムツ」も、両方ともによく使われる。使用頻度が高いと思われるものについて、対応できるようにした。

4. 「～する」と「～をする」

「する」を伴う動詞は、助詞の「を」を用いても用いなくてもいい場合がある。このようなケースでは、表示としては、例えば「手術(を)する」としたが、「手術する」「手術をする」でも検索可能とした。

5. 接頭辞の「お」「ご」

表示としては「(お)酒」としたが、「お酒」でも「酒」でも検索可能とした。

6. 分かち書き

初級の日本語教育では、教科書などで分かち書きが使われていることが多く、「日本語でケアナビ」でも、ひらがなでの表示の場合、採用している。しかし、入力する場合は分かち書きでも、分かち書きでなくても検索できるようにした。

7. 誤りやすい表記

前述したように、初級の日本語学習者にとってかなで正確に表記することは、簡単ではない。このサイトでは利用者に記述の正確さを要求するより、検索ができて調べたい情報にたどりつけるということを優先させた。そこで、日本語教師としての経験から、特に誤りやすいと思われる表記について、検索が可能になるように配慮した。例えば、「スプーン」 → 「スプン」など。